

令和7年度 第1回神奈川県立生田高等学校学校運営協議会結果
本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立生田高等学校学校運営協議会
開催日時	令和7年6月17日(火) 15時00分～16時30分
開催場所	神奈川県立生田高等学校会議室
出席者 (役職名)	<p>学校運営協議会委員</p> <p>米山 福吉 (多摩区長沢地区自治会長) 原山 修 (多摩区長沢商店会長) 秋山 香志 (川崎市立生田中学校長) 菅原 隆宏 (川崎市立碑原小学校長) 深澤 倫子 (明治大学理工学部教務主任・応用化学科・教授)</p> <p>脇本 健弘 (横浜国立大学教職大学院准教授) ※所用のため欠席 山内 みずき (本校PTA会長) ※所用のため欠席 野田 麻由美 (本校校長)</p> <p>本校職員</p> <p>眞中 恭子 (教頭) 儀丹 伸喜吉 (事務長) 鯨吉 剛 (総括教諭・研究開発Gリーダー) 牧野 篤敬 (総括教諭・管理・運営Gリーダー) 曾根 健吾 (教諭・研究開発グループ) 長谷川 佳代 (実習助手・管理・運営グループ)</p>
次回開催予定日	令和7年10月16日(木) 14:30-17:00
問合せ先	担当者名 神奈川県立生田高等学校 管理・運営G 電話番号 044-977-3800 F A X 番号 044-976-9398
審議(会議)経過	<p>開会 (教頭)</p> <p>○学校運営協議会の成立について 「神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条2により、本日5名の出席があるため、成立とする。</p> <p>1 校長挨拶</p> <p>お忙しいところの参加に感謝する。 学校運営に参画していただくための会なので、忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>・学校経営方針 創造性の高い職場にしたい。</p> <p>・重点目標について、理数教育推進が大前提であるが、SSHの指定を受けられることを目指している。</p>

SSHに関して今年度申請予定であり、承認を受けることが目標である。

・学校のあり方について

今の時代にあわせつつ、伝統は守る。不易と流行を大切にしていく。

・働き方改革について

業務アシスタントを複数配置しており、順調に機能している。

・オフィス改善について

今の働き方に合わせたスタイルかつ職員間でのコミュニケーションを取りやすい形にするため夏に職員室の配置を大きく変更予定である。

・DX化について

全教室に75インチディスプレイ配置予定だが、今年秋30台導入予定。生徒が高い希望を叶えられる学校にしていくため、ご意見をいただきたい。

(自己紹介)

(1) 会長、副会長選出について

会長については本校PTA会長山内様、副会長は野田校長とすることの承認を得た。

(2) 部会の設置および構成員について

学校運営協議会は3つの委員会を設置している。

1 学校評価部会

2 理数教育・ICT利活用推進委員

3 生徒と地域の連携部会

・資料「学校運営協議会運営計画書」に基づき、教頭より説明を行った。

(2) について、委員から了承を得た。

2 協議

(3) 令和7年度学校評価報告書(目標設定)について

資料「学校評価報告書」に基づき各グループおよび教頭より説明を行った。

(委員からの意見)

・自転車通学に関して法規制が厳しくなっているが、マナーや運転方法について生田高校における指導はよく行われている。近隣は狭い道路が多いため、渋滞で朝は自転車もなかなか進まない様子がみられる。

・生田高校が厳しいルールのもとで自転車通学を認可しているところはみな関心している一方で、生徒は大変なのではないかとも感じる。

・昨年度の生田の自転車事故件数は？

→3件である。

・怪我はあったのだろうか？

→中には怪我をする事案もあった。

(職員) 百合丘高校と合同で年に数回教員が交差点等に立ち、自転車マナーの指導を行っているところである。

(校長) 百合丘高校と生田高校の始業時間をずらすことで朝、生徒の通学時間の過密を避けているところである。

(4) 理数教育推進について

資料「県立高校指定校事業」に基づき研究開発グループより説明を行った。

・現1年生より理数探究基礎を新たに開設

・授業改善

授業観察などを行い組織的に授業力改善のため動いている。

(委員より)

・平瀬川について、水質調査はどのようなものであったか？

→環境 DNA に力を入れている。生物の構成を軸に水質の調査を行った。

(委員) 今後ホテルなどが発生し観光地にもなれば良いと思っている。

(職員) 生田高校としては地域にも貢献できるようにしたい。

(委員) 地域でも平瀬川を清掃しており、機会があれば参加してほしい

(委員) 数字以外に三年間で具体的に生徒の姿でこんな姿が見られたため、こんな効果があったとかまたこういった受験生が増えてきたなどあれば教えてほしい。

→自然科学教室などの参加者が増えた。またこれらに参加するために生田高校に入学した生徒も見られた。一方で、全体的には科学や科学技術に対する興味が低い。また外国との関わりや交流に挑戦する生徒が少ないため、改善していきたい。

(3年間計画書を受け) 受検生になにか変化があったか？

→理系に強いイメージを持たれがちであるため、理系だけではなく文理両道の広報をしているところである。科学甲子園にも出場し、科学ボランティアにも3人出場するなど科学・理科に興味ある生徒が増えている。

(5) DX ハイスクール事業について

資料「令和7年度 DX ハイスクール 取組概要」に基づき研究開発グループより説明を行った。

・生田高校では、探究をDXすることに取り組んできた。

具体的には電子黒板の導入、モバイルタッチディスプレイを設置したラーニングコモンズの整備、ハイスペックPCの設置、デジタルサイネージの設置などを行った。

・データ解析ソフトなどを用いて自分の意見を裏付けながら発表するなどの活動に今年度取り組んでいく。

(委員より)

・生成AIに関して、使われているガイドラインはあるか？

→神奈川県ではガイドラインが設定されており、教員はこれに基づき利用している。

・生徒の使用に関して何か問題、課題はあるか？教員は見抜けているのか？

→見抜くことは困難であるように感じている。AIを使わせないのでなく、自らの学びを深めるために補助的な利用をすることを促したいと思っており、今後の課題である。

(6) その他

(委員より) ニコニコハーモニー、オータムフェスタへの協力に加え、商店街の写真コンテストに写真部の生徒の出場多数あり、賑わった。今後ともお願いしたい。

(校長より)

・アラスカ遠征について

平瀬川のデータ発表が最高評価を得た。アラスカ大学で発表会があり、誘いがあったため参加する運びとなった。金銭面は学校からの遠征費の他、同窓会の寄付によりまかなった。

(科学部の GLOBE 国際活動について動画で説明)

4 閉会

(教頭) 以上で協議事項を終了とする。

生徒と地域の連携部会

(教頭) 地域・小学校・中学校に関してご意見をいただきたい。

(委員) 小・中学校との交流はあったのか?

→学校全体ではなかったが部活動単位ではあった。

(校長)

本校では理数探究基礎を行っている。取組を見たい等あれば来ていただければ他校種でも授業観察可能である。

(委員) 災害時に地域、学校とで協力し、相互に助け合いができればと思っている。例えば帰宅困難などで協力したい。

→自衛隊派遣の場にはなっている。

(委員) 生徒の安全確保に協力できれば。

(委員) 災害時の対策はどうなっているのか?

→身の安全を確保し、外の安全を確保できるまでは帰宅はさせない。校舎裏の斜面は警戒している。

(教員) 地域では防災訓練を行っているのか?

→(委員) 11月に行っている。近隣の公園で放水や炊き出しなどを行っている。

(教頭) 多様な意見に感謝する。以上で第一回学校運営協議会を終了とする。